

■修正内容一覧表(ケアラー本人向け)

懸念されている事項	調査で明らかにしたいこと	調査項目(案)	調査項目に対する修正意見及び事務局修正	修正意見への対応
		■調査全般	■設問項番の前に、「問」の文字を入れてはどうか。 また、回答選択肢にも、番号を付すべき	○ 提案どおり
		■調査全般	■高齢者介護のケアラーで、地域包括支援センターを通じて回答する場合、行政への不満などは答えにくく、回答者が直接返信できるような配慮が必要	○ ・回答者が道に直接郵送
	○ケアラーの実態 ○ケアラーの認識	「1 ケアをしているあなた自身について」(3問)  ■(1)あなたの性別と年齢を教えてください。 □男性 □女性 □その他 [ ]歳	■1:「ケアラー自身について」 ・主にケアを担っている「主たるケアラー」が回答するのか、そうでない場合「主たるケアラー」か「補助的ケアラー」を問う設問が必要 ・医療的ケア児がいる家庭の場合、誰が回答するのか  ■(1):「性別」 回答者に配慮し、性別の回答選択肢に「答えたくない」を加える。【事務局】	○ ・回答者を「主たるケアラー」に限定 ・医療的ケア児についても「主たるケアラー」が回答  事務局
		■(2)あなたの家では、あなたを含めて同居している方は何人ですか。 ( )人	■(2):「同居人数」 同居の子ども(18歳未満)の人数の確認は必要(ケア+子育て) ■大人と子ども(うち未就学児)の人数の欄をそれぞれ設ける。【事務局】	○ ・子ども(18歳未満)の人数及びそのうち(未就学児/小学生まで?)の人数を加える  事務局
		■(3)就労状況等(正規・非正規・自営・主婦(夫)・家族従事者・無職)	■(3):「就労状況等」 「家族従事者」の説明が必要(わかりづらい)	○ 「自営業の手伝い等」の文言に換える  事務局
		■設問追加	■(4):「ケアラー支援について」【事務局】 ケアラー・ヤングケアラーへの支援が社会問題化していることの認識の有無を問う設問を追加	事務局
		■設問追加	■(5):「ケアラーの自覚について」【事務局】 自らがケアラーである自覚があるかを問う設問を追加	事務局
		■設問追加	■(6):「ケアを行うことへの思いについて」【事務局】 ケアを行うことについて、どのように考えているかを問う設問を追加	事務局
		■設問追加	■(7):「公的支援サービスについて」【事務局】 要介護者など、ケアを受ける者を対象に、どのような公的サービス(介護・障がい福祉)があるかの理解の有無を問う設問を追加	事務局
【ケアラー自身に関する事項】  ○ケアの負担により健康が損なわれる ○自分らしい生活が送れない ○社会の理解・協力が得られず孤立している	○ケアの実態	「2 ケアの状況について」(10問) ※(4)は、ケアの相手方ごとに複数記載可/「一覧表」で整理  ■(4)あなたがケアをしている方に関して、次の(ア)～(キ)について表に記入してください。その他の選択肢を選んだ場合は、数字を表に記入し詳細は選択肢[ ]中に記入してください ■(ア)ケアの相手方の性別 ■(イ)ケアの相手方の性別 ■(ウ)ケアの相手方の年齢 ■(エ)ケアの相手方の生活場所(同居・別居・施設入所・病院入院)  ■(オ)ケアの相手方の状況(病気・難病・障害・依存症・認知症・心身の機能低下・その他)  ■(カ)ケアの内容(買い物、食事の用意・片付け、洗濯、掃除、外出援助、通院援助・支払いや金銭管理・話相手・徘徊見守り・服薬等の手助け・経管栄養等の医療的ケア・役所や事業所との諸手続)  ■(キ)利用サービス(通所・訪問・ショート・移送・サロンカフェ・未利用)	■(8)-(ア)～(キ):「ケアの相手方」 ケアの相手方を複数人記載する場合、ケアの割合の高い方から順に記載すべき(集計上、主にケアしている方に限定した分析ができる)  ■(ア):「ケアの相手方との関係」 回答選択肢に「配偶者」を加えるべき  ■(エ):「生活場所の選択肢」 施設入所であってもケアを行うことはあるが、施設については様々な相談を経て入居するから、「施設入所者」をケアしている方までを抽出して調査する必要があるか ■(オ):「ケアの相手方の状況」 ・「依存症」の説明を記載すべき(アルコール、薬物など) ・「難病」に括弧書で、病名を記載できる欄を設けるべき(パーキンソン病やALSなど)  ■(カ):「ケアの内容」 ・外出にあたっての援助について、「通院」と「買い物」の回答項目を統合【事務局】 ・回答選択肢に、「本人の意思を他人に伝達するための支援」を追加【事務局】 ・⑧の「医療関連」を回答者が理解しやすいよう「療養」に変更【事務局】  ■(キ):「利用サービス」 サービスを利用していない場合、その理由を問う設問を追加【事務局】	○ 提案どおり  ○ 提案どおり  ○ 提案どおり  ○ 提案どおり × 病名までを把握したいものではないため  事務局 事務局 事務局
		■(5)ケアの頻度(毎日のほか、5区分)		
		■(6)ケアの1日の時間(1時間未満～8時間以上の5区分)	■(6):「ケアの1日の時間」 平日と休日の差があるので、たとえば「週平均」と定義付けすべき	○ 提案どおり
		■(7)ケアの経験年数(20年以上～1年未満の5区分)	■(7):「ケアの経験年数」 回答選択肢は、期間の短い方から順に並べるべき(1年未満～20年以上の順)	○ 提案どおり
		「3 あなた(ケアラー)ご自身のケアの影響について」(4問)		

■修正内容一覧表(ケアラー本人向け)

懸念されている事項	調査で明らかにしたいこと	調査項目(案)	調査項目に対する修正意見及び事務局修正	修正意見への対応
<p>【ケアラー自身に関する事項】</p> <p>○ケアの負担により健康が損なわれる</p> <p>○自分らしい生活が送れない</p> <p>○社会の理解・協力が得られず孤立している</p>	<p>○健康状態</p> <p>○就労への影響</p>	<p>■(8)健康状態(不調・睡眠不足・通院有無・健診いけない・休養できない・睡眠不足)</p>	<p>■(12)健康状態</p> <p>・「健康や健康維持」を、回答者が理解しやすいよう「健康状態など」に変更【事務局】</p> <p>・「通院している」を、回答者が理解しやすいよう「病院に通うようになった」に変更【事務局】</p>	<p>事務局 事務局</p>
		<p>■(9)就労状況の変化(退職・勤務時間減・転職・就労経験なし・変化なし)</p>	<p>■(13):「就労状況の変化」</p> <p>・ケアを行う以前から行っている趣味や社会活動の変化についての設問を設けるべき(特に精神的負担の確認ができる)</p> <p>・「定職に就いたことがないケアラー」は、「就労経験なし」と「就労状況に変化なし」のいずれにも該当してしまう</p> <p>・「ケアのために就労経験が無い」を「ケアのために就労したことがない」に変更【事務局】</p>	<p>○</p> <p>×</p> <p>事務局</p> <p>・提案どおり</p> <p>・定職に就いたことがない人は「就労経験なし」にのみ該当</p>
		<p>■(10-1)就労を続けられている場合、その理由(各種サービス利用等)</p>	<p>■(14-1):「就労を続けられている理由」</p> <p>・回答選択肢の「各種サービス」が、何を指すかを定義付けすべき(行政サービスか民間サービスか)</p> <p>・設問タイトルを「あなたの就労を支えていることを教えてください。」に変更【事務局】</p> <p>・回答項目に「民間サービス(社協など自費サービス)の利用」を追加【事務局】</p>	<p>○</p> <p>事務局 事務局</p> <p>・「公的福祉サービス(介護・障害福祉など)が利用できなくなった」に変更</p>
		<p>■(10-2)ケアを機に退職した理由(疲労・代わりがいない・サービスが利用できなくなった・職場の環境)</p>	<p>■(14-2):「ケアを機に退職した理由」</p> <p>・回答選択肢の「サービスが利用できなくなった」の意味がわかりづらい(行政サービスなのか、会社の制度なのか)</p> <p>・「職場の環境」という回答選択肢は、抽象的すぎるので具体的な表現にすべき(【例】残業や出張できなくなり、会社に居づらくなった)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>・「福祉サービスが利用できなくなった(事業所閉鎖など)」に変更</p> <p>・提案どおり</p>
<p>【相談に関する事項】</p> <p>○ケアの負担により健康が損なわれる</p>	<p>○ケアの協力者の存在</p> <p>○相談先の理解</p> <p>○相談に関する不安</p>	<p>「4 ケアに関する相談について」(5問)</p> <p>■(11)ケアの協力者(家族・親族・近所や知人・サービス事業所・誰もなし)</p>	<p>■(15):「ケアの協力者」</p> <p>・この設問は、回答者が「主たるケアラー」であることを、前提としているように受け取れる</p> <p>【例】: 実母に付き添い、養父に付き添いヘルプオス補助ケアラー</p> <p>・回答選択肢に「息子・娘」を追加</p>	<p>○</p> <p>事務局</p> <p>・回答者を「主たるケアラー」に限定</p>
		<p>■(12)相談できる人や窓口・機関の有無(家族・地域包括C・ケアマネ等)</p>	<p>■(16):「相談できる人や窓口・機関」</p> <p>・「有」の場合、ケアの方針を決める際に、ケアラーの意見がどのくらい反映されているか現状を知る必要があるのではないか</p> <p>・回答選択肢に、「市町村」を追加【事務局】</p>	<p>○</p> <p>事務局</p> <p>・提案どおり</p>
		<p>■(13)生活や人生に関する悩みの有無</p>	<p>■(17)</p>	
		<p>■(14)悩みの内容(心身の健康・経済的な問題・就職・ケアの相手との関係・自分の自由な時間がとれない・ケアラー緊急時のケアをしている相手へのサービス・将来への見通しがもてない)</p>	<p>■(18):「悩みの内容」</p> <p>・設問を「どのようなことに悩んでいますか」に変更【事務局】</p> <p>・回答選択肢の「ケアラー緊急時のケアをしている相手へのサービス」の意味がわかりづらいので表現を変えるべき(【例】ケアラーに急用があったときに、誰が代わりにケアをするのか心配)</p> <p>・回答選択肢に「結婚をためらう、パートナーができにくい」の設問を追加【事務局】</p> <p>・回答項目「仕事とケアと自分の生活のバランスが取れない」を「ケアと仕事の両立」に変更【事務局】</p> <p>・回答項目「ケアラー緊急時のケアをしている相手へのサービス」を、「自分が緊急の用事などでケアができなくなった時の対応」に変更【事務局】</p> <p>・回答項目「親や家族が亡くなった後の非介護者のケアと生活の継続」を、「自分でケアができなくなった後の、ケアを受けていた方のその後」に変更【事務局】</p>	<p>事務局</p> <p>○</p> <p>事務局 事務局 事務局 事務局</p> <p>・提案どおり</p>
		<p>■(15)自分に代わってケアを担ってくれる人の有無</p>	<p>■(19):「もしもの場合に、ケアを担ってくれる人」</p> <p>・設問文中、「被介護者のケア」の部分を「現在ケアを受けている方へ」に変更【事務局】</p> <p>・回答選択肢に、「わからない」を追加【事務局】</p>	<p>事務局 事務局</p>
<p>【支援に関する事項】</p>	<p>○必要と思われる支援</p>	<p>「5 求める支援について」(1問)</p> <p>■(16)ケアラー自身に必要なと思われる支援(電話や訪問による相談体制整備・ケアラーに役立つ情報の提供・レスパイト・情報交換できる場の提供・就労又は再就職・24時間対応の在宅サービス・入所・入居施設の整備・社会的な支援への理解・専門職や行政職の支援の理解)</p>	<p>■(20):「ケアラー自身に必要なと思われる支援」</p> <p>・設問「ケアラーご自身に」を「ケアラーの方々を支えるために」に変更【事務局】</p> <p>・回答選択肢「気軽に休息や睡眠が取れる機会の確保」を「ケアが必要な方を一時的に預かってくれる場所」に変更【事務局】</p> <p>・回答選択肢「気軽に情報交換できる環境の紹介・提供」を「ケアラー同士が話し合ったり、意見交換できる場や環境」に変更【事務局】</p> <p>・回答選択肢「就労及び」を「就労継続及び」に変更【事務局】</p> <p>・回答選択肢「親や家族が亡くなった後の被介護者のケアと生活の継続」を、「自分でケアができなくなった後の、ケアを受けている方のその後の支援」に変更【事務局】</p> <p>・回答選択肢「相談窓口時間や曜日の拡充」を追加【事務局】</p> <p>・回答選択肢「社会的なケアラー支援への理解」の後ろに(ケアラーに関する認知度の向上)を追加【事務局】</p> <p>・回答選択肢「様々な相談に対応できる総合相談窓口の設置」を追加【事務局】</p>	<p>事務局 事務局</p> <p>事務局 事務局 事務局 事務局 事務局</p>
		<p>【その他】</p>		<p>「6 その他」(1問)</p> <p>■(17)新型コロナ対策によるケアの状況の変化</p>
<p>「7 自由意見」</p> <p>■悩みや要望、新型コロナの影響で困ったことなど</p>	<p>■「7 自由意見」</p> <p>新型コロナの影響による困りごとは、感染症対策の一環なので削除【事務局】</p>			<p>事務局</p>